

第三十七回岐阜市民芸術祭

響き合う

はなるゑみの音

2024年12月1日(日)

岐阜市文化センター
小劇場

岐阜市金町5-7-2

開場 13:00 開演 13:30 終演予定 16:00
前売券 700円(全自由席) 10月1日発売開始
当日券 1,000円

※未就学児は、保護者膝上に限り無料。但し、席が必要な場合は有料。



プログラム・演奏曲目

1. 箏曲 (ジュニア演奏)

「祭花二番」

作曲: 吉崎克彦

前半は「花」、桜が咲きほこり、春ののどかな香りが立ち込めています。後半は「祭」、尺八を笛、箏・十七絃を太鼓にみたてて華やかに演奏します。

2. 箏曲「山」

作曲: 土居崎正富・三品正保 作詞: 尾崎久弥

昭和49年の勅題「山」に因み両校により作曲、江戸文学者尾崎久弥が北斎の赤富士を素材に作詞されました。

3. みさと笛

「まつり・まつりのあと」

作曲: 山川直春

島崎藤村が小諸に住んでいた七年間の生活の中で生まれた詩をもとに作曲された一曲で、音楽と語りで「信濃路の四季」をたどります。

4. 箏曲「秋の歳時記」

作曲: 野村正峰

第1楽章「菊人形」、第2楽章「お月見」、第3楽章「豊年祭」と、色づく秋の風情を情緒豊かに華やかに奏でます。

休憩

5. 雅楽 国風歌舞「東遊」

駿河国の宇戸浜(今の三保の松原周辺)に天人が降りて歌い舞ったという「天女の羽衣」になぞらえた「駿河舞」と各地の神社を称える「求子舞」から成る宮中祭祀の歌舞です。

6. 箏曲「秋は来ぬ」

作詞: 島崎藤村 作曲: 梶田昌艶

静かなピチカートで、しのびよる秋の気配を表します。歌に入り、若さの中に純美性をもち、秋風、虫の音、紅葉の美しさなど、秋を謳歌した曲です。

7. 箏曲「都踊」

作曲: 宮城道雄 作詞: 大和田健樹

京都祇園で催される都踊の情景をうたった詩に作曲されたもので、豪華絢爛たる中でも憐さを失わない舞妓の美しさを表現しています。

8. 箏曲(ジュニア演奏)「さくら21」

編曲: 水野利彦

多くの方の耳に馴染み深い「さくら」のメロディーがちりばめられ、奥ゆかしさと21世紀に託されたエネルギーを感じていただけましたら幸いです。

9. 箏曲「群舞」

作曲: 筑紫歌都子

元気に満ち溢れた若者が、時には激しく、時には一抹の寂しさ虚しさを噛みしめつつ、群がり踊る情景を日本的旋律で描いた曲です。

お問い合わせ

岐阜市民芸術祭実行委員会事務局(岐阜市生涯学習センター内)

岐阜市橋本町1-10-23 (電話) 058-268-1050

【主催】岐阜市・岐阜市民芸術祭実行委員会・(公財)岐阜市教育文化振興事業団

【後援】岐阜県教育委員会・岐阜市教育委員会・岐阜県芸術文化会議・岐阜市芸術文化協会



【チケット取り扱い】
チケットぴあ/岐阜市生涯学習センター
お近くのセブン-イレブン各店舗でも直接お買い求めいただけます。

Pコード: 272-594

